



過去のニュースはこちら

第53回 MORIYAMA NEW YEAR 駅伝大会



新年の始まりを祝して 約800人がタスキをつなぐ

今年度から成人式典が「二十歳のつどい」となったことから名称を変更して開催し、112チーム約800人が参加しました。つどい実行委員が晴れ着姿で号砲、一斉にスタートした選手たちは、新年の爽やかな風に乗って一生懸命タスキをつなぎました。参加したランナーは「しんどかったけど走り切れてよかった」と話していました。

1月9日 | 市民運動公園と周辺

二十歳のつどい



新たな門出に これまでの感謝と誓いを胸に

成人年齢が18歳に引き下げられたことにより、「二十歳のつどい」として初めて実施され、令和4年度に20歳を迎える約700人が華やかな振り袖やスーツ姿で参加しました。

参加者を代表して、北中 樹斗さんは「プロサッカー選手になるという幼少期からの夢を追い続け、社会をリードする人材へと成長します」と誓いを述べました。

1月9日 | 市民ホール

湖岸の菜の花見頃



一足早い春のたより カンザキハナナ黄色い絨毯

早咲きの菜の花・カンザキハナナ約12,000本の花畑が見頃となり、連日、家族連れやカメラマンなどが訪れました。訪れた観光客などは、花畑の通路を散策したり記念撮影をしたり、花の前でじっくりとベストショットを狙うなどして、一足早い春のたよりを思い思いに楽しんでいました。見頃は2月中旬ごろまで。

1月19日 | 第1なぎさ公園

勝部・浮気の火まつり



3年ぶり住吉神社でも開催 勝部では若衆が勇壮に乱舞

県選択無形民俗文化財である「火まつり」（住吉神社、勝部神社）が開催され、一年の無病息災を祈るため老若男女多くの観客が見守りました。住吉神社では3年ぶりに、大松明2基に厳かに捧火。勝部神社では大松明12基が一斉に夜空を焦がし、ふんどし姿の若衆が「ゴーヨ」「ヒョーヨ」と掛け声をあげて乱舞していました。

1月14日 | 勝部神社、住吉神社(浮気町)

広報もりやまは
右記施設に設置

市役所、各地区会館、JR守山駅(駅前総合案内所)、市立図書館、すこやかセンター、市内金融機関、市内郵便局、市内平和堂各店とアルプラザ栗東、丸善守山店、市内セブンイレブンなど

スマートフォンでも
広報が読めます



※アプリの使用は無料ですが、通信費は各回線ごとのご負担となります。
※アプリの閲覧中に広告が表示されますが、その内容に守山市は責任を負いません。

「Maichiro」アプリをインストール

「Sidebooks」アプリをインストールし、「ちいき本棚」を選択

守山ニュース

「守山ニュース」びわ湖放送
毎月第1・3金曜日放送中

- 「冬はいちごの美味しい季節! もりやま冬いちご」
2月3日(金)午後8時20分~8時25分
- 「冬はいちごの美味しい季節! もりやま冬いちご」(再放送)
2月17日(金)午後8時20分~8時25分



You Tube「守山市広報」で過去の放送を視聴できます